

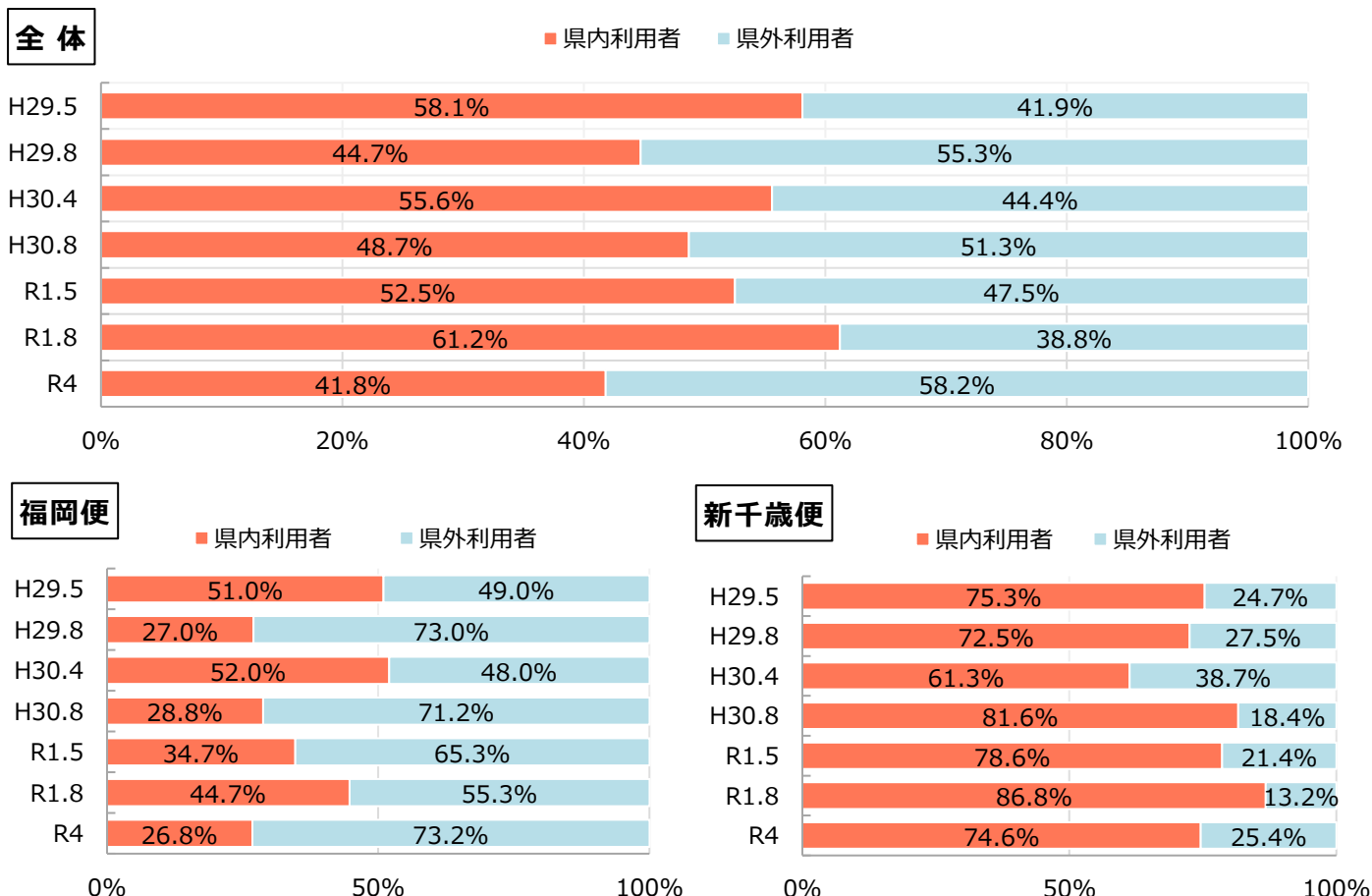
令和4年度信州まつもと空港搭乗者アンケート調査 定期便(新千歳便・福岡便・神戸便)(令和4年8月～10月)における利用者の動向

- | | |
|----------|---|
| 1 実施期間 | 令和4年8月～10月(期間中の計62日間) |
| 2 調査方法 | ウェブアンケート
(信州まつもと空港搭乗待合室にアンケートフォームへアクセスする二次元コード付きのチラシを掲示) |
| 3 調査対象 | 信州まつもと空港定期便の出発便の搭乗者 |
| 4 有効回収票数 | 合計 629票
(福岡便2便 224票 新千歳便 126票 神戸便2便 279票) |
| 5 その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大により、令和2年度及び3年度は調査なし ・令和4年度から調査方法を聞き取り方式からウェブアンケート方式に変更 ・令和4年度の調査項目から神戸便(R1.10/27就航)を追加 |

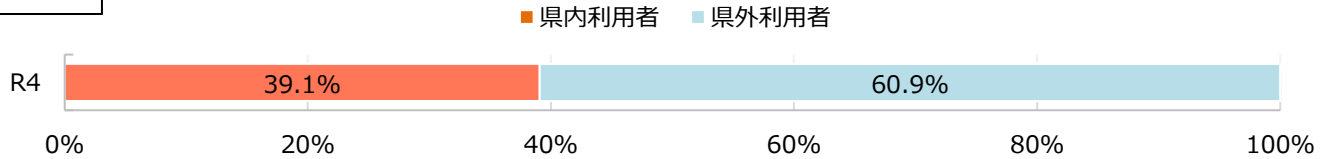
【県内・県外利用者の状況】

令和4年度の定期便全体では、県内利用者の割合が41.8%、県外利用者の割合が58.2%となり、県外利用者の割合が高い結果となった。

路線別では、**福岡便、神戸便は、県外利用者の割合が高く**、福岡便では約7割、神戸便では約6割が県外利用者であった。一方で、**新千歳便は県内利用者の割合が7割を超え**、過去3年分と同様に県内利用者の割合が高い結果となった。



神戸便

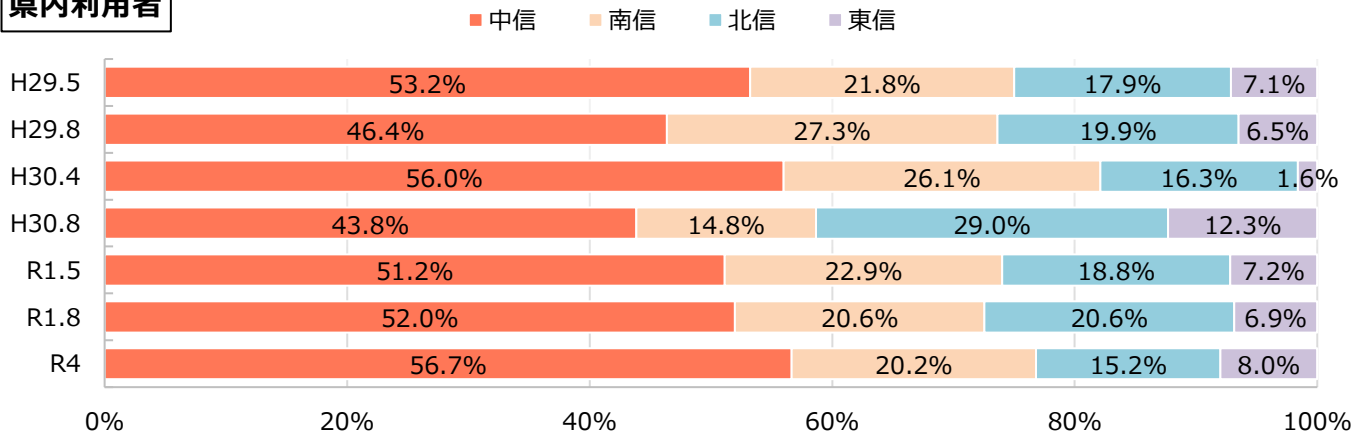


【利用者の居住地】

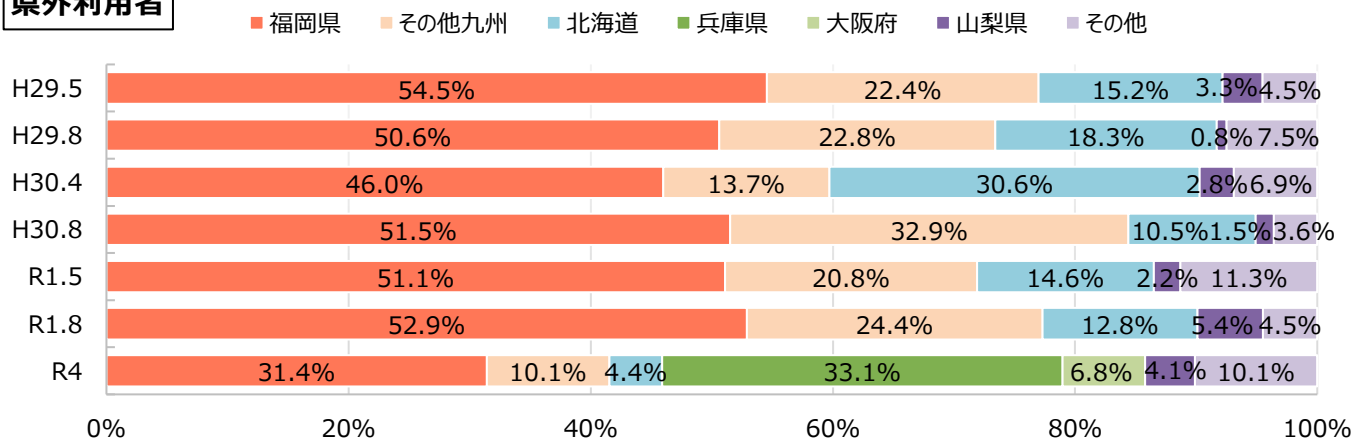
居住地別に見ると、**県内利用者では中信が56.7%**となり、令和元年8月と比較すると4.7%の増加。続いて南信20.2%、北信15.2%、東信8.0%の順となっている。

県外利用者では、福岡県とその他九州を合わせると41.5%となり、**県外利用者の約4割が九州地方の居住者**であった。また、神戸便の就航・複便化により、兵庫県からの利用者が33.1%、大阪府からの利用者が6.8%となり、**兵庫県と大阪府の利用者が合わせて県外利用者全体の約4割**を占める結果となった。

県内利用者



県外利用者

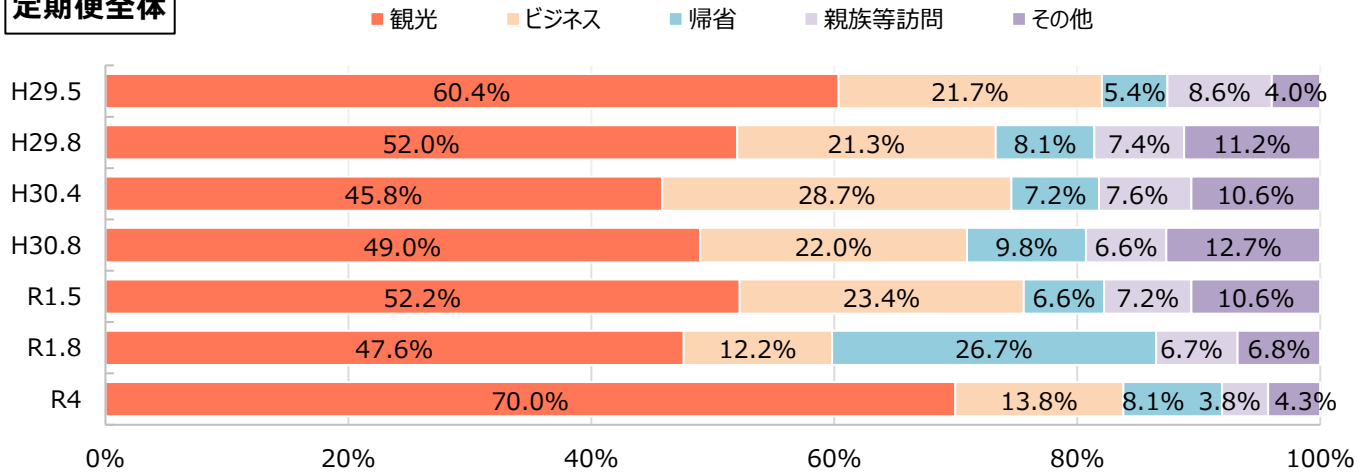


【旅行目的】

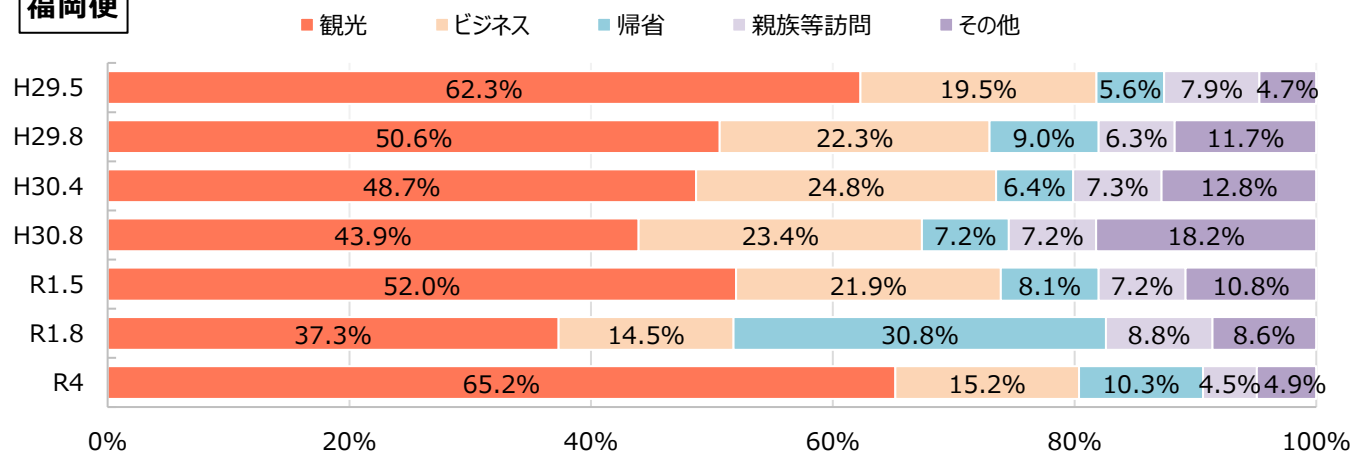
令和4年度における**定期便全体の旅行目的では、「観光」が70%**となり、過去3年分と比較すると最も高い割合となった。

路線別に見ると、「観光」の割合は福岡便で65.2%、新千歳便は68.3%となり、ともに過去3年分と比較すると最も高い割合である。今回初めて調査を実施した神戸便では、「観光」の割合は74.6%であり、他の2路線よりも高い結果となった。(なお、令和元年8月調査はお盆期間直前に実施をしたことから、「帰省」の割合が高いと考えられる。)

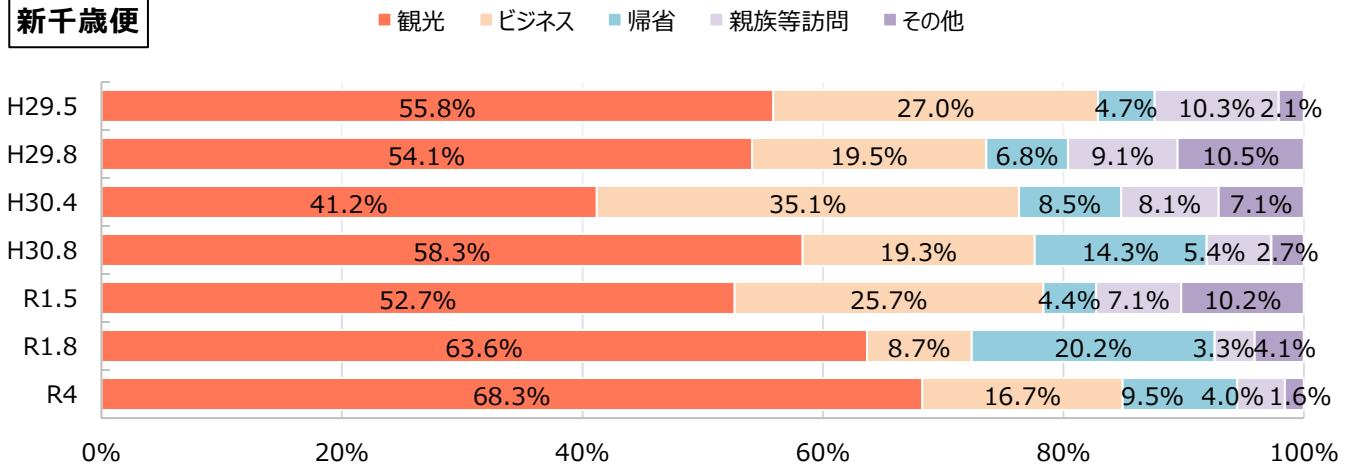
定期便全体



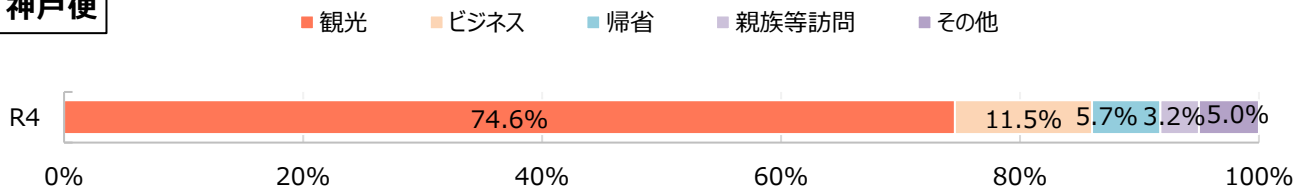
福岡便



新千歳便

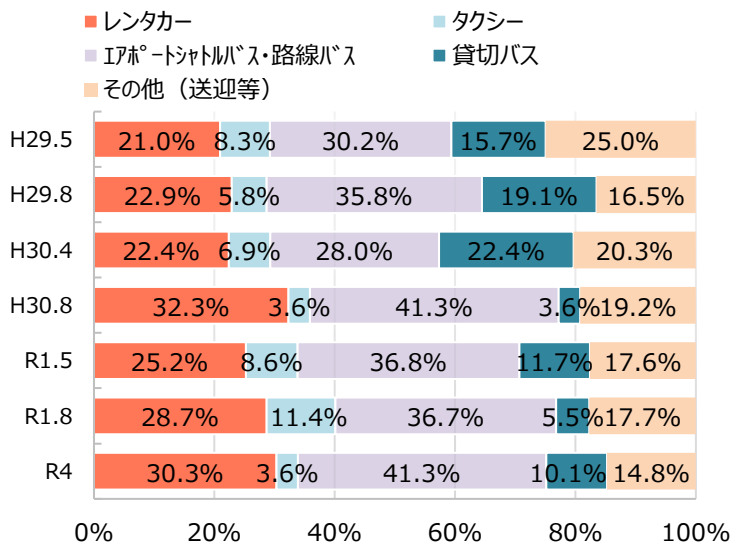


神戸便

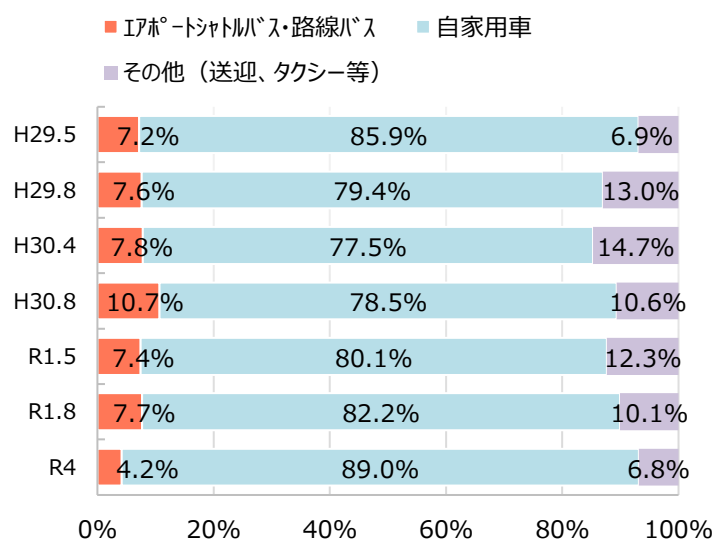


【参考(その他調査項目)】

空港への交通手段(県外利用者)



空港への交通手段(県内利用者)



利用者年齢層

